

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
15104005	放射光粉末構造解析による光励起状態の構造決定	守友 浩 (筑波大学・大学院数理物質科学研究科・教授)	B
<p>当初目標は、光誘起相転移にともなう過渡的な構造変化の時間分割測定によって相転移プロセスを解明すること、および光励起状態の結晶・電子構造を解明することであった。前者の時間分割構造解析装置は構築できたが、測定試料の問題が発見されたため、現在は新たな試料作成を進める段階にあり、時間分割測定の目標は達成されていない。時間分割構造解析において、わが国の研究は世界レベルから遅れが見られ、この研究にはその克服の期待がかけられている。</p> <p>このプロジェクト終了後も、是非、時間分割構造解析の成果を挙げてほしい。ただし、光励起状態の結晶・電子構造については、かなりの成果が得られており、プロジェクト全体としては一応の成果があったと判断できる。</p>			